

最適なメニューをマニュアル化し、 安くて美味しい給食を提供しています



株式会社都給食
代表取締役 西島 週三 氏

所在地 ● 京都府城陽市久世荒内177番地の6
TEL ● 0774-53-6001
FAX ● 0774-52-8050
業 種 ● 企業・学校・施設等の給食受託

●事業内容について

当社の創業は昭和48年で、当時は高度経済成長期の真っ只中。企業から社員の弁当を配達してほしいというニーズが高まり、レストランのシェフだった父が日配弁当の商売を始めたのです。

当初は弁当を作って配達しているだけでしたが、城陽市のあるメーカーからの依頼がきっかけで、昭和62年から社員食堂の運営を一括して受託するようになりました。以来、取引先は、城陽市を中心とした京都府内から大阪府や兵庫県など他府県にも広がりました。

現在は、企業の社員食堂をはじめ学校や寮の食堂、介護施設の給食などを受託しています。「安いけれども美味しくない…」と思われてきた給食の課題をいかに解決するかが私共の仕事だと考えています。社員・学生・施設利用者にとって最適なメニューは何か、快適な食環境をいかに創るか。お客様の現状を把握した上でメニューや空間演出を提案し、それがどのような効果をもたらすかを検証しながら満足度の高い食堂



を追求しています。

●ノウハウのデータ化、マニュアル化を徹底

給食はやはり「安全で安く美味しい」ことが一番だと思います。しかし、これまで必ずしもそのニーズに応えられていませんでした。そこで私共は、お客様の満足感を得ながら低コストを実現するためにマニュアル化を徹底しました。例えば調理については未経験者でも簡単に作れるように、すべてのメニューをパソコンでデータ化しました。その日のメニューに必要な調味料は、本社工場で一括して配合して1パッケージに入れ、具材もカットして真空パックにしたものを現場の厨房に送り込みます。というわけで各現場の厨房で包丁の使用は最小限にし、すぐに炒める・焼く・揚げるの調理に取り掛かれるようにしています。こうしたマニュアル化により誰でも簡単においしく作れますし、現場で調理するため、できたての温かい食事も提供できます。

また、衛生面でも厳しい管理マニュアルを作成しています。例えば、茶碗の洗い方ひとつにしても、洗う箇所と順番まで示しており、茶碗の底も忘れず洗うように指導しています。「ちゃんと洗っていたつもりが、気がつけば底だけが汚れていた」というこれまでの経験を生かしたものです。当社のマニュアルは言わば過去の実績の集大成ですね。

●ナンバーワンを目指す

京都産業21の設備貸与制度はこれまで3回利用しています。残菜処理付き洗浄機や真空冷却機、ボイラーなどその都度必要な設備を導入してきました。

公的機関だから安心して利用できますし、借入金扱いとならないのが有難いですね。また、6ヶ月間の支払い据え置きも、資金繰りを楽にしてくれますので大変重宝しています。

食の環境が危ぶまれる中で、断固として「安全で安く美味しいもの」を提供する体制を維持しながら支持者を増やしていきたいと思っています。目標は、2020年に京都の給食業界でナンバーワンになることです。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL: 075-315-8591 FAX: 075-323-5211
E-mail: setubi@ki21.jp

Access to **your** success
SHIMADZU
<http://www.shimadzu.co.jp>

知	り	た	い
を	,	を	
科	学	す	る

株式会社 島津製作所

京都市中京区西ノ京桑原町1 Tel. (075) 823-1110

分析計測 事業部	医用機器 事業部	半導体機器 事業部	航空機器 事業部
-------------	-------------	--------------	-------------

京都府中小企業融資制度の 充実・拡充のご案内

京都府では、平成20年4月から、厳しい経営環境にある中小企業の資金繰り対策を一層充実するとともに、環境配慮経営や創業にチャレンジする中小企業の支援制度等を拡充します。

京都府産業支援センターお客様相談室においても相談に応じていますので、お気軽にお問合せください。

(財)京都産業21ホームページでもご案内しています。 <http://www.ki21.jp>

1. 原油価格高騰対策等特別支援制度の創設(実施期間:平成20年4月～平成21年3月)

原油価格高騰等の影響により業況が悪化している中小企業の資金繰りを改善するため、京都府・京都市中小企業融資制度において長期の融資期間特例制度(10年以内)を創設し、中小企業の月返済負担を軽減します。

2. 環境経営促進金利優遇制度(京都ECOレート)の創設

環境に配慮した経営を実践している中小企業を支援するため、KES認証取得企業等に対する京都府・京都市中小企業融資制度において金利優遇制度を創設します。

3. 創業支援融資の創設

これまで、京都府・京都市それぞれで実施してきた融資制度を一本化して、府市協調「創業支援融資」を創設し、創業へのチャレンジを支援します。

4. 「あんしん借換融資」の延長実施(平成20年12月末まで)

本年3月末までの実施期間を年末まで延長実施し、経営環境の厳しい中小企業を支援します。

【お問い合わせ先】 京都府産業支援センター お客様相談室

TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail:okyaku@ki21.jp

NISSIN

次代を築くクオリティ

私たち日進製作所は、創業以来60年にわたり、各種精密機械部品の製造を担ってきました。その歴史は更なるクオリティへの挑戦であり、過酷な条件下でも高い信頼性を今日まで守り続け、お客様が求めるニーズに対応すべく、独創性・具現化・挑戦を続けております。

豊かな社会や未来といった次代を築くために、日進製作所はクオリティをもって貢献していきます。

— 営業品目 —

- ①自動車・オートバイのエンジン部品
- ②精密部品(工業用マシン部品)
- ③工作機械(堅型高速自動ホーニングマシン)



■ 超高精度穴加工機 セル型ホーニングマシン



■ ホンダ「オデッセイ」に搭載 バルブロッカーアーム



技術への挑戦は、人と未来のために
株式会社 日進製作所

もぐらたたきからの脱却 品質工学講演会の御案内

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要ですが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさせない、安定した設計・製造技術を開発することも大きな課題です。

従来の対策では、品質特性のトレードオフにより、1つの問題を解決してもまた新たな問題が発生し、いわゆる“もぐらたたき”に追われるケースが多く見られます。

この“もぐらたたき”から脱却し、問題が起こる前に将来起こるかもしれない多くの問題の防止に役立つ、高品質と高生産性を同時に実現するための具体的な技術的方法論が、品質工学なのです。

京都府中小企業技術センターでは、企業の垣根を超えて技術者が品質工学を学び、交流する場として、平成7年から京都品質工学研究会を開催しています。毎年約30社40名を超える会員が具体的な技術課題への適用事例について研究・討論を行う、参加型の研究会を目指しています。

この度、平成20年度京都品質工学研究会の活動開始に先駆けて、企業の経営者やまったくの初心者にも品質工学を身近に感じてもらうための講演会を開催します。

日 時 平成20年5月23日(金) 13時30分～16時30分

場 所 京都リサーチパーク東地区 1号館 4階AV会議室

テーマ 「経営戦略として品質工学を考える」

元コニカミノルタホールディングス取締役・元品質工学会副会長

小板橋 洸夫 氏

参加費 2,000円 平成20年度京都品質工学研究会会員は無料

定 員 60名

[申込先] (社)京都経営・技術研究会

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内

電話 : 075-312-0418 FAX : 075-312-0425

E-mail:kmt-soc@mail.joho-kyoto.or.jp

■品質工学とは

田口玄一博士が創始した品質工学は、欧米では「タグチメソッド」として広く知られており、パラメータ設計、機能性評価、MTシステムなど様々な手法を用いて、製造上のトラブルや市場クレームのないトータルとして損失の少ない製品づくりを支援します。我が国でも多くの企業で活用され、大きな成功事例が生まれています。

(予告)平成20年度研究会 4月中旬募集開始！

平成20年度会員は、近日中に募集を開始します。昨年度入会されていた方におかれましても、引き続きの御参加をお待ちしております。

- 1 内 容 会員企業の課題に対する適用事例の研究討論及び指導
品質工学初心者を対象とした基礎学習会 ほか
- 2 開催期間 平成20年5月～平成21年3月の月1回
- 3 開催日時 原則として毎月第2金曜日 13:10～17:00(別途 初心者のための基礎学習会を6月開催予定)
- 4 募集会員数 40名程度
- 5 会 費 後日御案内します。

研究会の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/rea/sem/qua>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

光ファイバマイクロ波伝送システムの光合波／分波デバイスを用いた光多重化伝送システムの適用とシステムの安定化研究

吉田 慎(中小企業技術センター 応用技術課)
廣瀬 雅信(独立行政法人 産業技術総合研究所)
川西 哲也(独立行政法人 情報通信研究機構)

安達 雅浩(商工労働観光部)
黒川 悟(同左)
株式会社 光電製作所

【はじめに】

近年、次世代無線LANや高速無線通信システムが盛んに研究、開発されており、これらの通信品質に大きな影響を与える電波の伝搬状況を高精度に測定できる装置や、EMC対策など不要電波の規制に関する測定が行われる電波暗室の電波特性を高精度に測定できる装置の開発が重要となっています。

一般にアンテナの特性や電波環境を測定するにはネットワークアナライザという装置を用います。測定は装置から測定サイト内の送信アンテナまで高周波信号を送出し、電磁波として放射されたものを受信アンテナで受け再び装置に取り込みます。

装置とアンテナ間の信号伝送には、金属線の同軸ケーブルが使用されますが、(独)産業技術総合研究所が有する光ファイバマイクロ波伝送技術を用いて、誘電体の光ファイバに置き換えることにより、高精度の測定を実現する電波環境測定装置を開発すべく共同研究を行いました。

このときに用いる光ファイバはアンテナ1個につき複数本を必要としますが、光多重化伝送技術を用いて1本の光ファイバで安定した伝送を可能とする研究を、当センターが担当しました。

【実験概要】

CWDM(波長分割多重)光通信に使用されるMUX/DeMUX(光合波／分波デバイス)を用いた合分波デバイス安定性能評価構成を右図に示します。

マイクロ波信号で変調された光と2波長のCW(連続光)の3波を多重化し、1本の光ファイバで伝送します。そして3波を分離した後、LN変調器からの2波の戻り変調光を再度多重化し、元の経路を辿り測定器手前で再度分離する構成です。

0.1～3GHz帯域における変調光変動の27分間のロギング結果を右下図のグラフに示します。

【研究成果】

金属線の同軸ケーブルを光ファイバに置き換えたマイクロ波計測システムにおいて、計測器近辺から送信アンテナ手前まで、3波を多重化し1本のファイバで伝送することを可能にした光合波／分波デバイスネットワークを構築することができました。

また、MUX/DeMUXを用いることで、0.1～3GHz帯域での変調光変動を1.6dB以内にすることができました。

【光ファイバマイクロ波計測システムの市場】

EMCサイト事業者

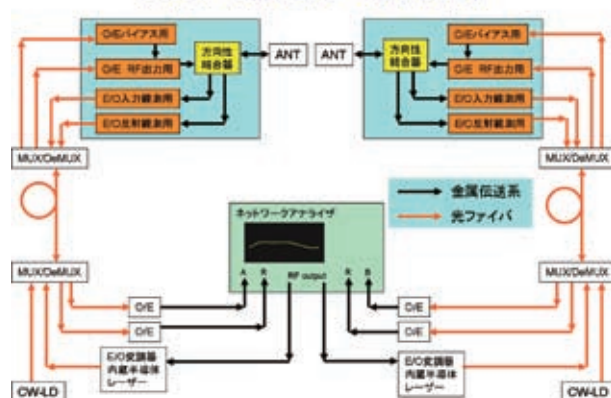
校正事業者・公設試験所

無線機器開発メーカー

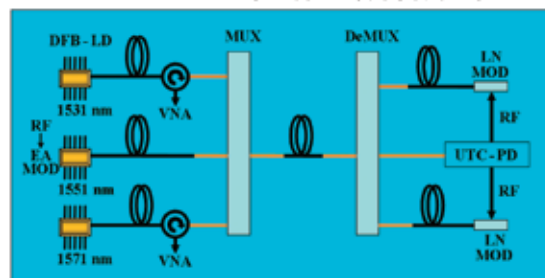
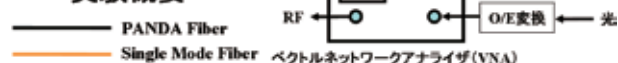
電波暗室を所有する事業者や研究機関・・・etc.

※金属ケーブルを用いない計測システムは、電波環境の測定や、電波暗室、EMCサイトなどの性能評価を高精度で実現できます。また、標準アンテナの校正システムにも使用可能です。

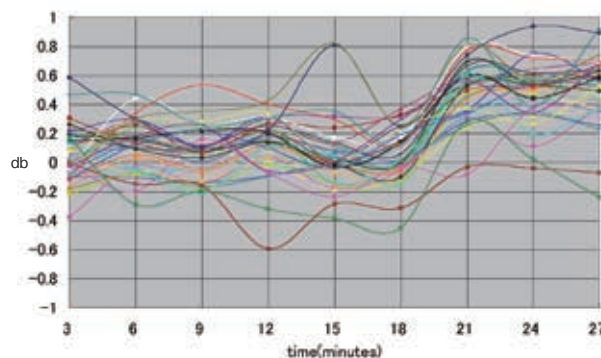
電波環境測定装置概念図
(フル2ポート光ネットワークアナライザ)



実験概要



MUX/DeMUXモジュールを用いた合分波デバイス安定性能評価構成



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
応用技術課 電気・電子担当

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp

「振 動 試 験」

◇振動試験の規格

日本工業規格(JIS)に規定されている振動試験方法としては、JIS C 60068-2-6(環境試験方法—電気・電子—正弦波振動試験方法)、JIS C 60068-2-64(環境試験方法—電気・電子—広帯域ランダム振動試験方法及び指針)、JIS D 1601(自動車部品振動試験方法)、JIS E 4031(鉄道車両部品—振動試験方法)、JIS Z 0200(包装貨物—評価試験方法通則)、JIS Z 0232(包装貨物—振動試験方法)など多数存在します。

しかもこれらの規格は、振動条件(振動数・変位・速度・加速度・加振時間等)を明確に確定した記載が行われていないことも多く、参考値・推奨値や指針という形で記載されていることもあります。

そのため、個々の製品・部品に対して、振動条件の具体的な設定を振動試験を行う側が決定しなければならないことがよくあります。

また、振動試験の規格には、JIS以外にIEC(国際電気標準会議)規格、ASTM(米国材料試験協会)規格、MIL規格(アメリカ国防総省が制定した物資調達規格)などの規格もあり、これらの規格を選定することも可能です。このため、振動試験を行う製品や部品が、実際にはどのような振動条件環境下に置かれるかを想定する必要があります。

なお当センターには、JISについては振動試験以外の規格も含め全て揃っております。

◇振動試験の事例

九州や北海道へ製品をトラック輸送する場合や航空機でヨーロッパまで運び、トラックに積み替えて所定の場所まで陸送を行うことを想定した包装貨物の輸送振動試験(ランダム振動試験)を行いたいという相談が持ち込まれました。

輸送のシナリオとしては、陸上輸送3,000km(走行時間50時間)+航空輸送10,000km(飛行時間12.5時間)の想定です。

そして今回は、様々な規格の中から「エミック株式会社の技術資料」を参考に、試験プロフィールとしてASTM4728-91、試験時間設定としてMIL STD-810E、加速時間設定としてMIL STD-810Dを用いたランダム振動試験を選択しました。

この振動試験方法のトラック輸送については5～200Hz、航空機輸送については5～300Hzの振動数範囲内でのランダム振動試験になります。

※加速時間設定:振動試験等の信頼性試験においては、想定した負荷よりも大きな負荷を与え、過酷な条件で試験を行うことにより、想定より短い試験時間で被試験体に同等の負荷を与えたと推察する手法を用いることがあります。この加える負荷の大きさ(想定値の何倍か)と短縮できる試験時間との設定について定めたものです。

◇振動試験機の紹介

当センター中丹技術支援室(綾部市内)に昨年設置した振動試験機は、

機 器 名	振動試験機(F-16000BDH/LA16AW)
メーカ 名	エミック株式会社
仕 様	最大加振力:16.0kN(正弦波) 最大変位:56mm 最大速度:2.3m/sec 振動数範囲:5～2,000Hz (加振テーブルの種類、積載重量等により変動し、振動数範囲は狭くなります)
加振テーブル	水平加振台(800×800mm、最大5～1,700Hz) 垂直補助テーブル(800×800mm、最大5～300Hz) 垂直補助テーブル(500×500mm、最大5～550Hz) 電子部品用高周波治具(150×150×150mm、最大5～2,000Hz)
用 途	正弦波振動試験、ランダム振動試験、ショック振動試験です。 また、機器貸付の利用料金は、2,600円/時間です。

※機器貸付についての具体的な申し込み手順については、

<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/tec/tes/ren/> をご覧ください。



水平加振台に接続し、水平方向の振動試験を行う状態



電子部品用高周波治具を取り付けて振動試験を行う状態

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成20年度京都府の中小企業(製造業等)振興に関する当初予算の概要

京都府の平成20年度一般会計予算は、総額8,223億7,300万円(対前年比0.2%増)で、うち中小企業(製造業等)振興については、アクションプラン、中小企業応援条例、伝統と文化のものづくり産業振興条例、企業立地促進条例(略称)等に基づいた、活力ある京都型産業の創成と地域経済の活性化に向けた施策の中で展開していきます。

今回は、平成20年度京都府当初予算のうち、中小企業(製造業等)振興に関する主な予算についてその概要をご紹介します。

中小企業への総合的な支援

●中小企業金融支援費 61,500,000千円

昨今の原油価格・原材料価格の高騰など府内中小企業の経営環境が非常に厳しい状況であることから、京都市と協調して制度融資の一層の拡充を図り、中小企業の経営安定や再生を支援します。

●地域ビジネスサポート推進事業費 76,068千円

中小企業者等に対する創業・経営革新支援をはじめ、地域経済圏の拡大やニーズの高度・専門・多様・広域化などへの対応や、地域の活性化を積極的に支援する機能を兼ね揃えた地域経済の広域拠点となる「地域ビジネスサポートセンター」の設置を支援します。

●「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」推進事業費 4,400,000千円

「地域力の再生」を図るため、地域特産品や観光資源を活用した創業、商店街の活性化や福祉・環境・子育て支援など地域の課題を解決する取組の事業化など、新たな事業の創出や中小企業者等の新分野への進出を支援します。

和装・伝統産業の振興

●匠の公共事業費 173,900千円

京都の和装・伝統産業は、日本の文化を支え、世界に誇りうる府民共有の財産であることから、「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、和装・伝統産業の基盤づくり(人材育成・技術継承、新たなものづくりの推進、需要基盤形成のための普及啓発)を積極的に推進します。

●京もの工芸品産地等支援事業費 45,000千円

京都を代表する工芸品や和装の各産地が実施する情報の発信、PR等産地の活性化につながる取組みに対して支援します。

●丹後織物ルネサンス事業費 10,400千円

丹後地域の基幹産業であり、和装文化の伝統を守る上でも重要な位置を占める丹後織物産地の発展を図るため、地域に蓄積した高度な技術を活用した新商品の開発及び販路開拓の取組みを実施します。

●高校生きものチャレンジ事業費 7,300千円(匠の公共事業費より再掲)

将来の日本文化の担い手である高校生に対し、教育活動を通して、きものに親しんでもらうとともに、日本の伝統文化に対する理解を深めるなど、将来のきもの需要拡大につなげます。

●京都イタリア中小企業交流支援事業費 4,000千円

イタリア・トスカーナ州との経済交流協定に基づき、京都の伝統的なものづくり産業をはじめとした中小企業の交流を進めることにより、京都のさらなる活性化・発展を図ります。

●道具類等確保京都モデル構築事業費 2,000千円(匠の公共事業費より再掲)

伝統工芸品の製造に不可欠な道具類で、調達困難な道具類の需給安定を図るため、日本の伝統産業のメッカである京都が全国に先駆けて、全国の産地等と連携し、「道具類ネットワーク(京都モデル)」の構築等の取組みに対し支援します。

●源氏物語千年紀匠の技継承事業費 66,000千円(匠の公共事業費より再掲)

「源氏物語千年紀」を契機に、職人さんの高度な技術を次世代へ継承するための逸品を制作することにより、京都の工芸技術の魅力のPRを図るとともに、厳しい状況におかれている和装・伝統産業の職人さんの技術を活用した仕事づくりを支援します。

●伝統と文化のものづくり産業振興補助金 300,000千円

京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、低利融資制度である「伝統と文化のものづくり産業集積等促進融資制度」と併せた本補助制度を効果的に活用することで、伝統と文化のものづくり産業の集積等により振興を図ります。

地域の特性に応じた新産業育成と企業誘致

●京都ITバザール推進事業費 183,473千円

学術・文化や産業集積、京都ブランド等の特色を生かし、21世紀型産業の集積エリアを目指す「京都ITバザール構想」の具体化を目指し、IT関連等成長産業の誘致やベンチャー企業の育成も行うとともに、国のユビキタス特区の指定と連携した取組みを推進します。

●試作産業創出事業費 3,500千円

中小企業の「試作産業」への積極的参加を促進し「試作産業」を新京都ブランド産業として一層育成していくため、京都試作センター等と連携し集客力のある見本市への出展等を通じて、情報発信と受注拡大の取組みを行い、「試作のメッカ 京都」を国内外に発信します。

●健康創出産業振興事業費 19,300千円

大学・関連企業の集積等、京都の優位性を生かし、次代の京都産業を牽引する健康創出(ウエルネス)産業を育成します。

●京都映画・映像産業ルネサンス事業費 7,500千円

京都の映画・映像産業の復興と国内外への市場拡大の推進により京都経済の一層の活性化を図るため、エンタテインメントとしての映画の魅

力を府民・観光客に向けて強力に発信し、「日本のハリウッド太秦」を中心とした京都の観光や商店街振興に結びつけるとともに、映画・映像産業の担い手育成やビジネスチャンスの仕掛けづくりを図ります。

●京都エコ産業推進事業費 7,000千円

京都議定書の地「京都」から、京都の地域力、研究開発力を活かし、地球温暖化防止をはじめ、京都産業の環境問題の解決へのチャレンジを支援する新たな仕組みとなる「京都産業エコ推進機構(仮称)」を設立し、産学公の連携の下、新たなエコ産業の創出、中小企業のエコ化、CO₂削減等を推進します。

●環境産業等産学公研究開発支援事業費 85,000千円

「京都府中小企業応援条例」に基づき、社会的ニーズに対応する技術課題への重点的な取組みを促進し、技術開発成果を実用化して社会に普及するため、地球環境問題への貢献等、府の政策目的の達成につながる研究開発を支援し、併せて次代の京都経済の発展を担う技術革新に立脚した新産業創成を図ります。

●中小企業研究開発等応援事業費 49,000千円

「京都府中小企業応援条例」に基づき、知事の認定を受けた新技術の研究開発等に関する事業計画のうち、特に新規性、成長性、波及効果等が認められ、他の中小企業のモデルとなる模範的なものについて、その着実な遂行を支援し、チャレンジする府内中小企業の創造的な取組みを強力に促進します。

●学研都市大学発ベンチャー支援事業費 10,050千円

関西文化学術研究都市の持つ優れた研究シーズを活用し、産学公連携による学研都市発の新産業を創出するため、地元市町と連携し、研究開発を行うベンチャーを支援します。

●中小企業知的資産活用推進事業費 28,000千円

知的財産権やノウハウ、人材、技術力など目に見えない企業の強みである知的資産を活かす知的資産経営(=「知恵の経営」)を支援し、「知恵をまなぶ」「知恵をいかす」「知恵をまもる」事業を総合的に進め、中小企業の活性化を図ります。

●創援隊推進事業費 3,500千円

ベンチャー企業等の発展の隘路となっている販路開拓を中心として、民間の活力等を活用し、ベンチャー等の発展をサポートするため、大手企業等とのネットワークをもつ個人や販路開拓等にノウハウを有する団体を応援団としてネットワーク化するとともに、総合的な支援として優れた人材の紹介を行い、21世紀の京都経済の発展を担う新たな産業の育成を図ります。

※「創援隊」: ボランティアで販路開拓を中心にベンチャーを支援する応援団

●北部産業技術支援センター・綾部推進事業費 22,000千円

中丹地域を中心とした北部地域中小企業の活性化を図るため、綾部市と共同で整備した「北部産業技術支援センター・綾部」において、中小企業の技術の高度化や産学公連携を通じた新たな分野への展開を支援します。

●北部産業活性化拠点・京丹後整備等推進費 265,492千円

北部地域の地場ものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を進めるため、日本電産旧峰山工場を活用し、ものづくり人材育成のための事業展開拠点の形成(トレーニング・ゾーン)、地域の新しい産業興しとこれを支える人材の開発拠点の形成(トライアル・ゾーン)、中小企業振興のための総合支援拠点の形成(サポート・ゾーン)の3つの拠点整備を柱に「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備・運営を推進します。

●京都産業立地戦略2 1 特別対策事業費補助金 750,000千円

企業誘致による安定した雇用、障害者雇用の促進や地域特性を活かした産業集積をさらに進めることを目的に、税の特例措置や「雇用のための企業立地促進融資制度」による低利融資制度と併せた本補助制度の効果的な活用により、府内のそれぞれの地域の立地条件や地域特性に応じた戦略的な企業誘致を推進します。

●京都新光悦村振興事業費 1,000千円

京都新光悦村のコンセプトである「伝統と先端の融合」により生み出される付加価値を生かして感性に訴えるものづくりを目指す「京都発感動創造ものづくり」をキーワードに、「新光悦村京都発感動創造ものづくりプロジェクト事業」(仮称)を展開し、新たなものづくりとその拠点である京都新光悦村のPR及び企業等の立地を促進します。

京都府中小企業技術センターの組織改正のお知らせ

京都府中小企業技術センターは、本年4月1日付けで組織改正を行いました。主な改正点は、組織の簡素化、効率化を図るため、部制を廃止するとともに、企画情報室と産学公連携推進室を統合して企画連携課を設けました。

〈改正前〉

企画総務部

総務室

企画情報室

技術支援部

産学公連携推進室

基盤技術室

応用技術室

中丹技術支援室

けいはんな分室

連携企画担当

産業デザイン担当

機械設計・加工担当

材料・機能評価担当

化学・環境担当

電子・情報担当

食品・バイオ担当

表面・微細加工担当

〈改正後〉

総務課

企画連携課

基盤技術課

応用技術課

中丹技術支援室

けいはんな分室

企画・連携担当

情報・デザイン担当

機械設計・加工担当

材料・機能評価担当

化学・環境担当

電気・電子担当

食品・バイオ担当

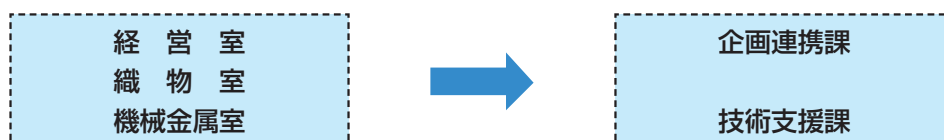
表面・微細加工担当

京都府繊維・機械金属振興センターです

京都府繊維・機械金属振興センターは、丹後繊維業と北部機械金属業等の発展・振興を図るために設置された京都府の機関です。今年度は、同センターからの記事も掲載していきます。

京都府繊維・機械金属振興センターは、明治38年9月に京都府繊維試験場として設置決定されてから、研究指導機関として丹後の繊維業とともに歩み、昭和47年には京都府繊維指導所に名称変更、さらに、平成12年からは、繊維業に加えて丹後の基幹産業に成長してきた機械金属業等の支援を行うこととなり、現在の名称となっています。

なお、平成20年4月1日から組織の簡素化・効率化を図るために、3室制から2課制となりました。



住所 京丹後市峰山町丹波139-1 電話 0772-62-7400

URL <http://www.silk.pref.kyoto.jp/>

「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備が進んでいます

北部地域のものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を図るため、「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備が京丹後市内で進められています。このほどその一部が完成し、地元企業のための基礎技術研修をはじめ、地元企業の拠点進出による新分野事業が先行してスタートするとともに、この秋には当センターの移設などにより拠点事業が本格的に展開されます。

当センターの事業の一部をご紹介します

丹後繊維ルネッサンス事業では、新たな丹後ちりめんの開発や地域に密着した高度な技術を活用した新しい素材・商品の開発等を総合的に進めるため、丹後繊維の特色である撚糸技術を活用した交織白生地商品等の開発や、機業グループとデザイナー・流通業者とのコラボレーションによる企画から商品開発までを行う人材育成のための事業等を実施しています。平成19年度は、「新商品開発・販路開拓事業」を計画して参加企業を募り、和装・洋装の各2グループに別れて商品開発や販路開拓に向けた取組を行い、その成果を府内外の展示会で発表しました。



和装グループの展示会：京都市（左）と京丹後市（右）内で開催

また、北部地域の機械金属関連の技術に携わられる方々を対象に技術の高度化を図るため、各種セミナー・研究会等を開催しています。その一環で、高度完成部品製造に関わる「ものづくり」技術の向上を図るため、3次元CAD/CAM/CAEシステムを使った機械構想から加工まで一貫した試作開発ができる設計技術者の育成を目的に、全9回の連続講座「北部ものづくり塾」を開催しました。

長期に渡る連続講座でありましたが、3次元CAD/CAM/CAEシステムを使った設計の効率化について体験してもらい、受講された方からは、「3次元CADを使うのは初めてで操作に慣れない部分はあったが、基本を覚えれば2次元CADと同じように使える」などの感想をいただきました。



▲3次元CADによる設計演習



▲ひずみゲージ法による実験

【お問い合わせ先】

京都府繊維・機械金属振興センター
企画連携課

TEL:0772-62-7401 FAX:0772-62-5240
E-mail:info@silk.pref.kyoto.jp

社団法人発明協会京都支部(京都発明協会)のご紹介

平成19年12月25日に社団法人発明協会京都支部(京都発明協会)(以下「京都発明協会」といいます。)が、京都府産業支援センターの2階に移転し、業務を開始しました。

社団法人発明協会は、全国47都道府県に支部を組織する公益法人で、現在、約1万人の会員を擁しています。

京都発明協会は、一世紀にわたり一貫して京都産業の発展に寄与することを目的に、発明の奨励、産業財産権の普及など科学技術の振興を通じ、地元の特性に即した活動を地方公共団体、商工会議所などと連携して推進しています。

平成19年4月には、京都府と京都発明協会との共同運営により、京都府知的財産総合サポートセンターが開設されました。このセンターは、京都発明協会内に設置されている京都府知的所有権センターの業務内容を充実させるものであり、また、関係諸団体との連携を図ることにより、京都府民に対して、知的財産に関する総合的なサポートを行う体制が構築されました。

この移転を契機に京都発明協会(京都府知的財産総合サポートセンター)と京都府中小企業技術センター、財団法人京都産業21がさらに連携を密にし、府内中小企業に対する経営、技術、知財支援を一体的に行っていきます。

今年度は、京都発明協会からの記事を四半期ごとに掲載する予定です。今回は、当協会の事業概要をご紹介します。



《事業概要》

(1) 産業財産権制度の普及・活用促進

産業財産権制度の円滑な運用とその普及・啓発を図るため、各種の相談支援事業、セミナー等を実施しています。

① 知的財産に関する無料相談

特許等の出願に協会相談員が随時相談に応じる他、弁理士による「産業財産権」の無料相談会や府内主要地区での巡回相談会を定期的に実施しています。

② 専任アドバイザーによる相談・支援

- ・ 特許出願アドバイザーによるパソコン電子出願の相談・支援を実施しています。
- ・ 特許情報活用支援アドバイザーによる産業財産権情報の検索等に関する相談・支援を実施しています。
- ・ 特許流通アドバイザーによる特許の導入・移転・譲渡等に関する相談・支援を実施しています。

③ セミナー等の開催

知的財産に関する初心者向けの入門編から実務担当者向けの専門的な内容、法制度の説明、最新の研究課題など、多様なテーマでセミナー等を実施しています。また、会員向けに「知財勉強会」、「特別講演会」、「工場見学会」等を実施しています。

(2) 産業財産権情報の提供等

インターネットの利用拡大に対応し、Webサービス等積極的な情報提供を行っています。特許等の公報類(電子図書館IPDL)の閲覧・複写サービス、パトリス検索(株式会社パトリスが行っている世界最大級の特許情報のオンライン検索システム)、産業財産関連の書籍・各種公報の販売等を実施しています。

(3) 発明奨励・振興事業等

優れた発明、考案又は意匠の創作並びにそれらの実施や奨励等に関し、特に顕著な功績があると認められる者を顕彰することにより、科学技術の振興と産業の発展を図ります。

また、未来をになう青少年の創造性の開発育成を図るため、長期的な視点からも発明の奨励と振興に取り組んでいます。

① 発明表彰事業

京都府発明等功労者表彰、全国発明表彰、近畿地方発明表彰、知財功労賞等の顕彰及び推薦を実施しています。

② 青少年創造性(開発)育成事業

- ・ 京都府内 小・中・高校創造性コンクール、未来の科学夢絵画展等を開催しています。
- ・ 少年少女発明クラブの活動の充実及び新たなクラブの増設を積極的に推進しています。

【お問い合わせ先】

(社)発明協会京都支部
京都発明協会

TEL:075-315-8686 FAX:075-321-8374

E-mail: hatsumei@ninus.ocn.ne.jp URL: http://www4.ocn.ne.jp/~khat8686/

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問合せください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

市場開拓グループ TEL.075-315-8590

(本情報の有効期限は5月10日までとさせていただきます)

本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
織-1	ウェディングドレス	裁断〜縫製〜仕上	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10〜50着/月	話合い	不問	25日 翌月10日支払、 全額現金	運搬片持、内職加工持ち 企業・特殊ミシン(メロー がけ)可能企業を優先
織-2	ウェディングドレス	裁断〜縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10〜50着/月	話合い	不問	月末日 翌月末日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬 発注側持ち
機-1	自動化・省力化機械部 品	切削加工・板金加工(アル ミ、鉄、ステン等)	京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎 用・NC旋盤、MC等関連 設備一式	多品種小ロット (1〜100個)	話合い	近畿圏	月末日 翌月末日支払、 10万円手形120日	運搬受注側、材料支 給無し、継続取引希 望
機-2	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日 翌月末日支払、 10万円手形120日	継続取引希望
機-3	精密機械部品(アルミ、 SS、ステンレス)	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフ ライス盤他	話合い	話合い	近畿圏	月末日 翌月末日支払、 振込	運搬受注側持ち、断 続取引希望
機-4	工作機械付属設備(ス テンレス容器、タンク)	製缶加工(φ500)	京都市伏見区 1000万円 45名	関連設備一式	話合い	話合い	不問	月末日 翌月20日支払、 現金	

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	MC・汎用フライスによる 精密機械加工(アルミ、 鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包 装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/ CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品〜量産品	京都・滋 賀・大阪	運搬可能
機-2	小物MC加工(アルミ・ SUS・鉄他)	産業用機械部品	京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋 賀・大阪	継続取引希望
機-3	切削加工・溶接加工一式 (アルミ・鉄・ステン・真鍮)	液晶製造装置・産業用ロ ボット・省力化装置等精 密部品	京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライ ス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品〜中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真 空機器部品のアルゴン溶接 加工までできる。
機-4	金属部品の精密切削加工 (AL、SUS、SSなど)	工作機械部品、車輛部品、 油圧部品、電機部品	京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各12台	中〜大ロット	不問	高品質、高い技術、豊かな人間性をモットーに、 NC旋盤、マシニングセンターにより、車輦・ 電機・機械など金属部品加工をしています
機-5	パーツ・フィード設計・製作、省力機器設計・制作		宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半 自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他 工作機械	話合い	不問	自動機をパーツ・フィードから組立・ 電気配線、架台までトータルに製作 するので、低コストでの製作が可能
機-6	一般切削加工、ワイヤー カット加工	弱電部品のプレス金型設計 製作及び一般部品加工	亀岡市 個人 1名	ワイヤーカット放電加工機、立フライ ス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	単発取引可
機-7	プレス加工・板金加工〜 アルマイト表面処理	アルミ材	八幡市 5000万円 30名	プレス機、深絞り用プレス、油圧プレス 機、自動アルマイト処理設備一式(硫酸皮 膜・珪酸皮膜対応)他	話合い	不問	全て自社工場内で行い、お客 様にアルミ加工技術をご提 供したいと考えております。
機-8	電線・ケーブルの切断・圧着・圧 ピン挿入、ソレノイド加工、シール ド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブ ル、ソレノイド、電線、コネ クタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全 自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、ア プリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作 品)〜大ロット (量産品)	不問	経験30年、国内及び海外に十数社の協力 工場を含む生産拠点をもち、お客様の ニーズに応えるべく、スピーディでより低 コストかつ高品質な製品を提供します。
機-9	SUS・AL・SS板金・製缶、 電子制御板等一式組立製 品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タン ク槽、ボイラー架台等、大 物、小物、設計・製造	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、ベンダー各 種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレー ン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話合い	不問	2t車、4t車輦、継続取 引可能、単発可
機-10	MC、汎用フライスによる 精密機械加工(アルミ、 鉄、ステンレス)	半導体関連装置部品、包 装機、FA自動機等	京都市南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフ ライス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品〜量産品	京都・滋 賀・大阪	運搬可能
機-11	プレス加工(抜き、絞り、 曲げ、穴あけ)	産業用機械部品等金属製 品	京都市右京区 個人 3名	トルクバックプレス35〜80t、トランス ファープレス、スケヤシャー、多軸タッ ピングマシン他	話合い	府内企業 希望	継続取引希望
機-12	切削加工、複合加工	産業用機械部品、電機部 品、自動車部品	長岡京市 1000万円 10名	NC自動旋盤、カム式自動旋盤	中〜大ロット	近畿府県	小径・小物(φ1〜20・ 600ミリ)、量産加工 (500〜50万個程度)
機-13	切削加工	産業用機械部品	京都市伏見区 個人 2名	NC立フライス、旋盤5〜9R、フライス盤 #1〜2、平面研削盤等	話合い	不問	継続取引希望
機-14	切削加工	産業用機械部品	京都市下京区 個人 1名	汎用旋盤6R、立フライス#1、タッピン グボール盤、ノコ盤、ボール盤	話合い	京都市内	継続取引希望
機-15	プレス加工(抜き、曲げ、 絞り、タッパ)	自動車部品、機械部品、工 芸品、園芸品等小物部品	福知山市 300万円 8名	機械プレス15T〜100T(各種)	話合い	不問	NCロール、クレード ルによるコイルから の加工も可
織-1	縫製加工	スカーフ等小物類	京都市上京区 1000万円 4名	ロックミシン	話合い	話合い	手縫い可
織-2	仕上げ(縫製関係)、検査	婦人服全般	京都市北区 300万円 8名	仕上げ用プレス他	話合い	話合い	

織-3	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作	京都市山科区 1000万円 3名	六頭・四頭電子刺繍ミシン、パンチングマ シン	タオルや小物など雑貨 類の刺繍も承ります。 多品種小ロット可。	不問	運搬可能
織-4	仕上げ、下札付、カバー掛 婦人服全般	長岡京市 個人 2名	バキューム仕上台	話し合い	話し合い	運搬不可
他-1	販促ツール(マンガ)の企 画・製作	ビジネスコミック誌 亀岡市 個人 6名		話し合い	不問	自社の研修、商品アピールに と用途は様々です。お気軽に お問い合わせください。

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。

遊休機械設備の紹介について

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問い合わせください。

当財団のホームページにおいても掲載しています。

なお、紹介を受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。市場開拓グループ TEL.075-315-8590

*財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は直接掲載企業と行っていただきます。

売りたいコーナー

No.	機 械 名	形式・能力等	希 望 価 格
001	ベンチレース(ターレット)	エグロ 10型 棒材25.4φまで 昭和60年製 付属:切削工具共、コレットチャック他	話し合い
002	NC旋盤	マザック QT-8 1962年製	100万円
003	汎用旋盤	豊和 5尺	20万円
004	ターレット盤	江黒 2台	20万円/1台
005	オイルフリースクリュー圧縮機	日立産機システム DSP-22A6II-7K 2003年4月製 吐出空気量:3.4m ³ /min 吐出圧力:0.69MPa 空気層(SUS製) ヒートレスドライヤー試運転のみ稼動。運搬買取側	1台 100万円(購入価格400万円)

買いたいコーナー

No.	機 械 名	形式・能力等	希 望 価 格
001	ハンドリフト	メーカー不問、積載荷重200kg、リフト方式、手巻き	話し合い
002	3次元測定機	国内メーカー、X=400～、Y=400～、Z=400～、公正経 歴が明確である事	250万円
003	電動圧着工具	1.25～5.5端子用、被覆なし	3万円

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

OMRON

気になる部位ごとの
「皮下脂肪率」「骨格筋率」がわかる。

KaradaScan
オムロン 体重体組成計 カラダスキャン



「人は外見より中身」
なんて言ったら、
中までチェック
されちゃった。



オムロン体重体組成計「カラダスキャン」HBF-362
オープン価格

オムロン ヘルスケア株式会社

〒615-0084 京都市右京区山ノ内山ノ下町24番地 <http://www.healthcare.omron.co.jp>

購入前相談や商品の使い方などお気軽にお問い合わせください。
受付時間 祝日を除く(月～金)9:00～19:00(都合によりお休みさせていただくことがあります)

オムロン お客様サービスセンター

☎0120-30-6606

お問い合わせ先：●財団法人 京都産業 21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

日	名 称	時間	場所
April 2008. 4.			

日	名 称	時間	場所
May 2008. 5.			

23
(金) ●品質工学講演会

13:30 ~ 16:30 京都府産業支援センター 5F

舞鶴商工会議所・中丹ビジネスサポートセンター主催 「ビジネス相談ウィーク」に参画

去る2月25日(月)から29日(金)の5日間、舞鶴商工会議所及び中丹地域ビジネスサポートセンター主催の「ビジネス相談ウィーク」個別相談会が開催されました。例年実施されている相談会で、「経営」、「IT」、「特許」、「法律」、「技術・環境」、「財務・金融」及び「労務」まで、経営に関するあらゆる相談に応じる1週間です。

今年は国内外の「販路開拓」についても窓口を設けることとなり、初めて(財)京都産業21からも相談員をアドバイザーとして派遣し、舞鶴市及び綾部市内の中小企業の相談に応じました。

お客様相談室では、窓口相談をはじめ、相談内容に応じて専門家を派遣する制度も実施しており、今後も地域ビジネスサポートセンター等と協力して中小企業の課題の解決、経営革新、連携・交流、新事業の展開などにご利用ください。

詳しくは(財)京都産業21ホームページをご覧ください。 <http://www.ki21.jp>



「M&T 情報缶」をご利用下さい

～開発製品・技術、イベント情報などを展示～

京都府産業支援センターロビーに円柱形の広告塔「M&T 情報缶」を設置しています。これは、中小企業の皆さまにご利用いただける情報発信ツールです。製品・サンプル等を一定期間展示し、多くの来場者にご覧いただくことが出来ます。どうぞご利用ください。

[掲示仕様 ポスター類：A3横サイズ40箇所]

展示スペース：W90×H60×奥行き180cm(ライト点灯可)

※お問い合わせ・お申し込みは、

(財)京都産業21企画総務部(TEL 075-315-9234)

又は京都府中小企業技術センター企画情報室(TEL 075-315-9506)までご連絡ください。



3月号の掲載記事に関するお詫びと訂正

3月号の「京都ビジネス交流フェア2008」の記事の中で、麻生純京都府副知事とありましたのは、猿渡知之京都府副知事の誤りでした。

深くお詫び申し上げますとともに、謹んで訂正いたします。

専門家特別相談日 (毎週木曜日 13:00 ~ 16:00)

○事前申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日 (毎月第二火曜日 13:30 ~ 16:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590 FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日 (毎週木曜日 13:00 ~ 17:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。
TEL・FAX 075-325-2075

インターネット相談実施中！

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしていますので、お気軽にご相談ください。

▶ <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/consul/consul.htm>

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご利用ください！

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご利用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm

京都府中小企業技術センター協力会 会員募集中

当会にご入会いただきますと、情報誌「クリエイティブ京都 M&T」をお手元にお届けするとともに会員相互の交流を図ります。これまでにも、ユニークなセミナーや交流会事業を実施しています。

詳しくは、ホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/coo>をご覧ください。

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権！ —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240
 けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
 TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
 北部支援センター 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139
 TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/石田大成社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551
 中丹技術支援室 〒623-0011 京都府綾部市青野町西馬場下38-1
 TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341
 けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
 TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202